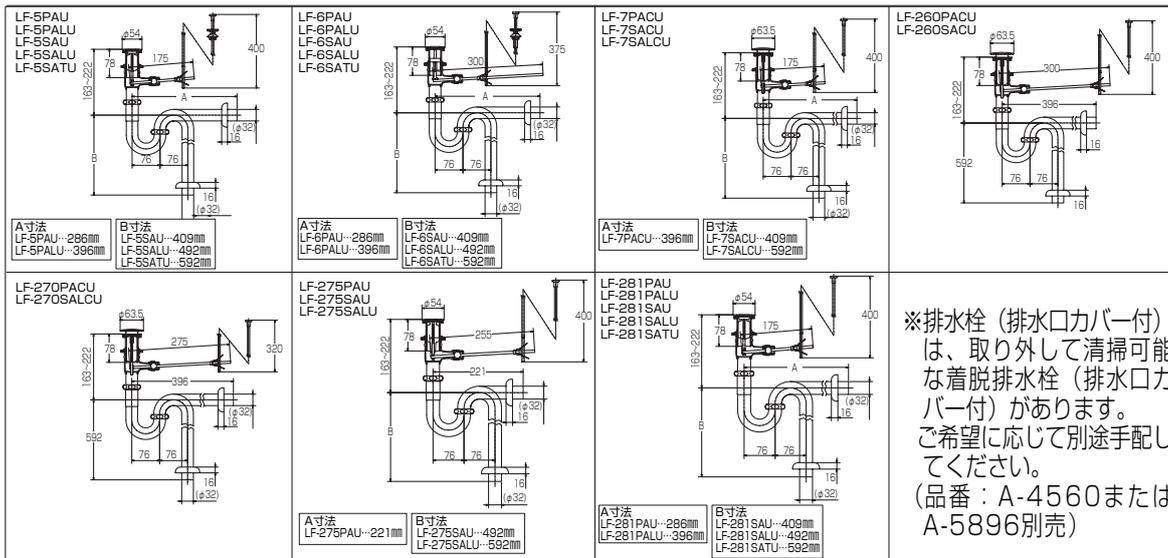


ポップアップ式排水金具

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書をお客さまにお渡しください。

● 商品図



※排水栓（排水口カバー付）は、取り外して清掃可能な着脱排水栓（排水口カバー付）があります。ご希望に応じて別途手配してください。
（品番：A-4560またはA-5896別売）

● 安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、お客さままで保管頂くよう依頼してください。

● 施工前のご注意

- 商品の表面には、直接工具を掛けしないでください。工具を掛ける際には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 同梱、取付けの際には、商品の表面にキズを付けないよう十分注意してください。

● 洗面器排水金具の取付け

(1) 排水口とキックボックスの取付け

- ① 排水口ねじ山に必ずシール材を塗布してシールしてください。

注意

ねじ山に水がたつわり漏水の原因になります。

- ② 洗面器上部にスポンジパッキン（右図A）、下部に三角パッキンとスリッパワッシャーをはめて締付ネットで締付けてください。（右図B）

注意

締付ネットを締めすぎないように注意してください。
※排水金具が変形し、漏水の原因になります。

- ③ 排水栓を排水口に差し込み、キック棒が水平に差し込まれるまで、キックボックスをねじ込んでください。次にロックナットでキックボックスをしっかり固定してください。
※着脱排水栓の場合は、排水口の上から差し込みます。
（品番：A-4560またはA-5896別売）
（LF-6PAU、6PALU、6SAU、6SALU、6SATUの場合のみ）
- ④ キック棒の袋ナットを漏水しない程度に締め付けてください。

注意

袋ナットを締めすぎないように注意してください。
※ポップアップ棒の動きが重くなります。

⚠ 注意

施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。



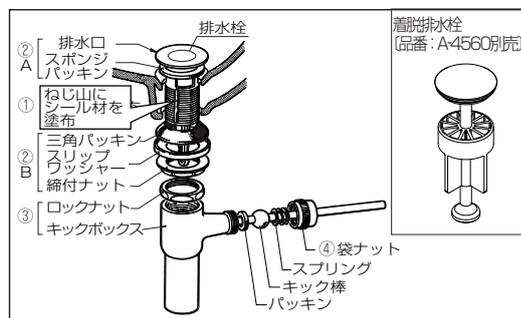
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。



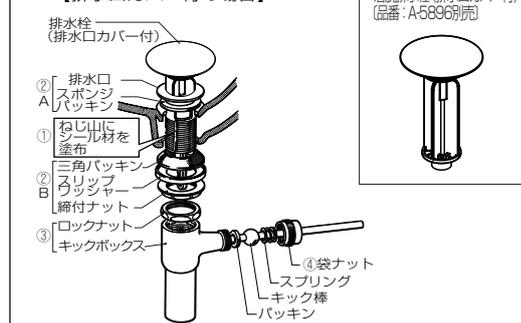
施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。



メッキのハガレはそのまま放置しないでください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。



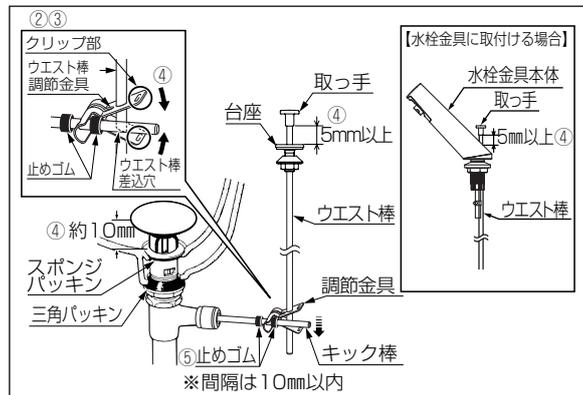
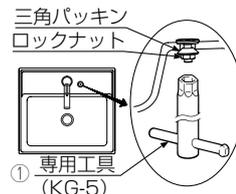
【排水口カバー付の場合】



(2) ウェスト棒の取付けおよび調節

- ①台座付の場合、洗面器にウェスト棒の台座を差し込み、三角パッキン、ロックナットの順に取り付け、専用工具 (KG-5) でロックナットを固定します。(LF-5PAU、LF-5PALU、LF-5SAU、LF-5SALU、LF-5SATU、LF-6PAU、LF-6PALU、LF-6SAU、LF-6SALU、LF-6SATUの場合)
- ②キック棒に止めゴムと調節金具を図のように組付けてください。
- ③ウェスト棒を台座または水栓金具本体に通し、さらに調節金具のクリップ部を摘みながらウェスト棒差込穴に通してください。
- ④排水栓の開閉 (約10mm程度上下します。) が行えるように、調節金具のクリップ部を摘みながらウェスト棒の高さを調節してください。このとき、取っ手と水栓金具本体または台座がぶつからないように、5mm以上の隙間をあけてください。
- ⑤排水栓の開閉が円滑に行えることを確認したら、止めゴムで調節金具が動かないように挟んでください。(止めゴムの間隔は10mm以内)

【台座付ウェスト棒の場合】



注意

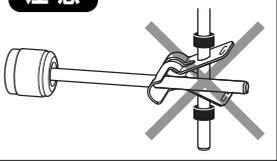
調節金具に干渉しないように、水栓金具の給水ホースを取り回してください。破損して漏水する恐れがあります。

注意

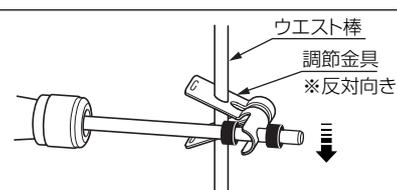
止めゴムを付けない場合は、調節金具がキック棒より外れ正しく作動しない恐れがあります。

注意

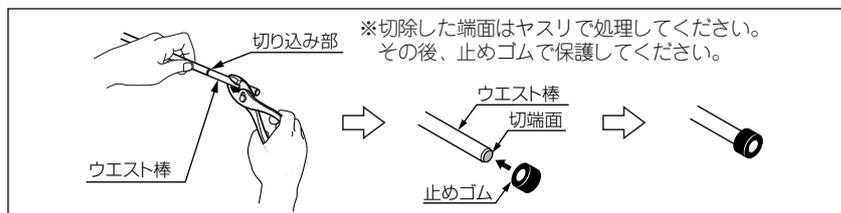
止めゴムをウェスト棒に取り付けないでください。



※水栓金具によりウェスト棒が斜めに挿通される場合や、ウェスト棒の操作が重い場合は、調節金具の向きを右図のように反対にして取り付けてください。



- ※ ウェスト棒が長すぎて排水管等に干渉する場合は、下端にある切り込みより、プライヤー等を用いて切除してください。(LF-6PAU、LF-6PALU、LF-6SAU、LF-6SALU、LF-6SATU、LF-270PACU、LF-270SALCUはこの作業は不要です。)



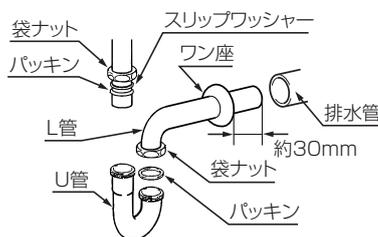
注意

切除した端面でケガをしないようにしてください。

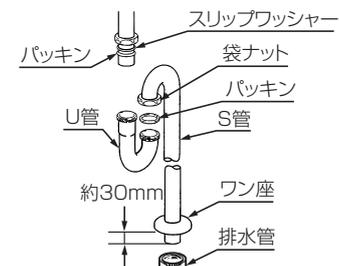
●排水管の接続

排水トラップを仮付けして、L管またはS管を排水管との差込みしろ約30mm残して切断してください。

【Pトラップの場合】



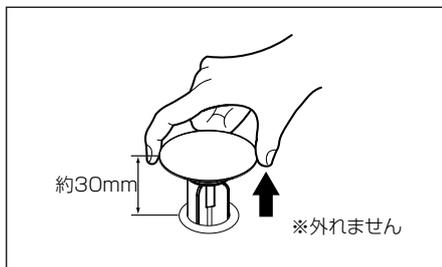
【Sトラップの場合】



●お手入れ

●清掃方法

排水口等を清掃する際は、排水栓 (排水口カバー付) を上に持ち上げて、清掃空間を確保します。
※排水栓 (排水口カバー) は約30mm程度持ち上げ出来ます。(着脱排水栓以外は外すことはできません)



- 着脱排水栓は、必要に応じてヘアーキャッチャー部を掃除してください。

普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 軽い汚れの場合
水またはぬるま湯で湿らした布で、汚れをふきとってください。
- ひどい汚れの場合
食器洗い用中性洗剤を薄めて、含ませた布でふき、そのあとすぐ水洗いして、乾いた布でふきとってください。
※商品を傷める恐れがあります。
- 商品を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - 磨き粉などの粒子の粗い洗剤
 - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシなど
 - シンナー、ベンジンなどの溶剤



この説明書は、必ずお客様にお渡しください。